



札幌みんなのサイクル「ポロクル」

実施・運営事業者：認定NPO法人ポロクル

札幌みんなのサイクル『ポロクル』は、2011年4月より民間の実施・運営によりシェアサイクル事業を展開してまいりました。2018年度までの「第1期ポロクル」は、自社開発によるシステムで運用してまいりましたが、システムの老朽化や事業の収支性に課題があったことから、2019年度よりシステムやサービス内容を刷新し「第2期ポロクル」として、株式会社NTTドコモとの2年間の共同運営の試行を開始し、持続可能な事業に向けた検証を行いました。この結果、ニーズの拡大や利便性向上などにより大幅な利用増となり、安定的な事業運営の基盤形成が図られたと評価し、2021年度より、株式会社ドコモ・バイクシェアからのシステム提供による本格的な連携運営を開始しました。

2022年度は、自転車を410台から480台に増車したことで更なる利用増となり、収支も改善傾向に推移しています。しかしながら、自転車のメンテナンスコストが増加していることや、ポート用地の確保、公共交通との連携など、事業を継続し札幌のまちづくりに寄与するために取り組むべき課題も多くあります。今後も、持続可能なシェアサイクル事業に向けて、行政や連携先からの理解・協力を得ながら取り組んでまいります。



ポート (54 駅前通札幌大通西4ビル前)



操作パネルは2タイプ。既存410台は赤い角型。今期より導入した70台は丸型で、LEDライトでの利用案内など操作性が向上しました。

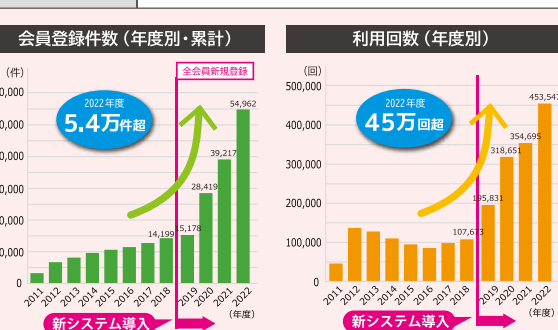
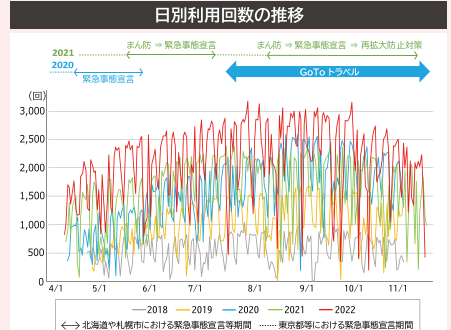
ポートマップと全車両搭載 GPS による移動軌跡



2022年シーズンの全車両の移動軌跡

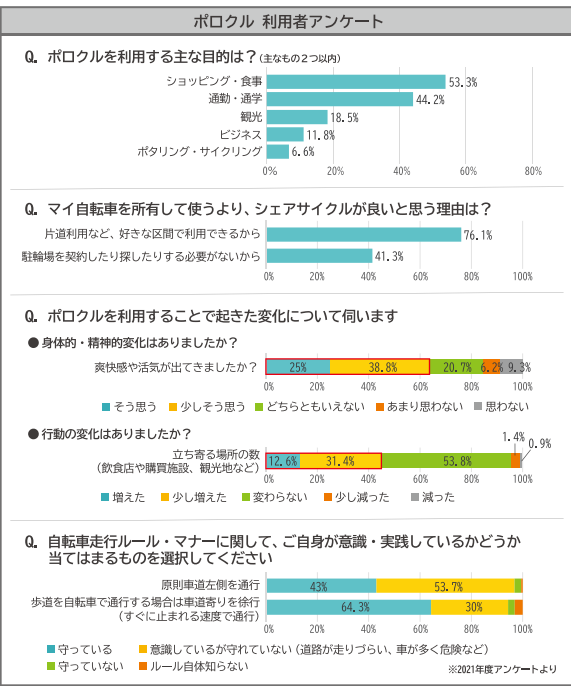
目的・背景					
目的	民間が担う新たな交通サービス「シェアサイクル」を通して、札幌のまちづくり・人づくり・魅力づくりに貢献すること				
背景	2008年 株式会社ドコモによるサイクルシェアリング実証実験開始				
	2011年 株式会社ドコモビリティデザインによって事業開始				
	2015年 特定非営利活動法人ポロクルが事業・取り組みを継承				
	2019年 株式会社NTTドコモとの共同運営の試行を開始				
2021年 株式会社ドコモ・バイクシェアとの本格的な連携を開始					
利用実績					
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
利用回数	107,673	195,831	318,651	354,695	453,547
1日平均	561	1,036	1,562	1,620	2,071
1日最大	1,043	1,666	2,591	2,387	3,133
1日平均回転数/台	1.9	3.3	4.3	4.2	4.7
1日最大回転数/台	3.5	5.2	7.1	6.2	7.2

2022年度 実施概要		
実施期間	日程	2022年4月9日(土)～2022年11月13日(日)の219日間
	時間	24時間営業
施設規模	自転車台数	480台(70台増車)
	ポート数	53カ所
料金体系	個人会員	1回会員 165円/1回 月額会員 2,200円/1ヵ月
	法人会員	月額会員ライト 2,200円/1ヵ月 月額会員プレミアム 4,400円/1ヵ月
	1日バス	対面販売(ICカード付き) 1,650円 Web/コンビニ(ICカード無し) 1,430円
	システム	20インチ/3段変速/電動アシスト付き/操作パネル搭載 メーカー：ブリヂストン、ヤマハ
その他	ポート仕様	ビーコン・ラック設置(一部ラックレス) 台数制限あり(一部無し) ベンダー：株式会社ドコモ・バイクシェア
	管理システム	・全国共通アプリ(会員登録・ポート検索・台数確認・自転車予約等) ・連携している全国の「バイクシェア」サービスが共通IDで利用可 ・お客様専用コールセンター設置



高精度 GPS を用いた自転車交通安全のミライ

車両3台に高精度GPSを搭載し、精度の高い位置情報を取得しています。通行した路線だけでなく、車道が歩道が順走か逆走かといった詳細な通行状況も把握できるため、これを活用し、ルールを守る人、安全に自転車を利用できる人が増えていくミライを目指します。



災害協定 北海道開発局札幌開発建設部・札幌市と災害協定を締結

2015年にそれぞれ締結していた北海道開発局札幌開発建設部と札幌市との災害協定を見直し、市内で災害が発生した際の応急・復旧支援として、災害復旧活動を行う職員のために無償で自転車を貸し出し、緊急移動時に活用してもらおう協定を再締結しました。



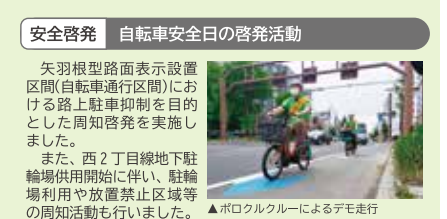
環境保全 海洋ごみ問題への取り組み「海と日本プロジェクト」との連携事業

「海に流出するごみの約8割は街から出ていく」と言われていることを受け、街をフィールドに活動しているポロクルではユーザー参加型のごみ拾いイベントや、ポロクルによるポート周辺を含めた街の美化活動等を実施しました。



安全利用 自転車ヘルメット着用促進モニター事業

北海道と連携し、ヘルメット着用に関する周知・提案をするとともに、ポロクル利用者に向けてモニターを募集し、ヘルメットの無料貸出と着用後アンケートを実施しました。



観光 藻岩山山麓通周辺の観光施設と連携

観光施設の「札幌もいわ山ロープウェイ」「大倉山ジャンプ競技場」「円山動物園」と連携し、各施設の割引券やノベルティがけいた1日バスを、数量・期間限定で販売しました。